

忘れられた神仏 疱瘡の神

古御堂に鎮座の前田神社の祭神のなかに、稲背脛命(鷲大明神)があり、また茶畑原神社には寛政元年(1789)に鷲大明神が祭られました。江戸時代末期に記された『神社改帳』によれば、東坪・御来屋・梶原・奈和の村々に稲背脛命を祭ったと記載されています。さて稲背脛命とはどんな神様でしょうか。



稲背脛命(鷲大明神)が祭られている前田神社

島根県大社町鷲浦の伊奈西波岐神社の主祭神は稲背脛命で、鷲宮、鷲大明神ともいわれました。稲背脛命は出雲の国譲りの際、大国主命のお使いとして美保関の事代主命(恵比須さん)の所に行かれ、国譲りの是非を問われた神です。『鷲社縁起』には「この神、医療に關係された大国主命と縁深い神で、疱瘡守護神と崇敬し奉る」とあり、

疱瘡の神として広く信仰されてきました。疱瘡は天然痘ともいわれ、伝染力が大変に強く、流行の繰り返すにより多数の死者を出し、世界の人々を悩ませた恐ろしい病でした。昔は神仏の加護によって罹患を防ぐほかに方法がなく、各地に疱瘡の神が祭られました。中山町束積の中山神社には、稲背脛命と白兔が祭られ、皮膚病(疱瘡)の神として「伯耆の白兔」の伝説を伝えています。

イギリスの医師ジェンナーは、1796年に種痘による天然痘予防法を発見しました。日本では嘉永2年(1849)にオランダ医師によって種痘接種がされ、それからは日本の医師によって種痘による天然痘予防法が普及されました。『因伯洋学史話』(森納著)によれば、安政3年(1856)に富長村の国谷為四郎が、藩から種痘回村医の認可を受けています。明治9年(1876)には「天然痘予防規則」が制定され、強制種痘の制度を設け、小児期に接種をおこなった結果、疱瘡の患者が無くなっていきました。

戦後世界保健機構(WHO)の援助を受けた、種痘による疱瘡(天然痘)根絶計画が推進された結果、昭和55年(1980)には地球上から疱瘡は根絶されたと宣言され、1982年以降、国際的に種痘は不要となりました。

(名和町歴史研究会 高島 信平)

日本の伝統芸術です

「名和書道クラブ」は平成15年1月から活動を始めたサークルです。現在の会員は7人。毎月第1・3木曜日に公民館の第1会議室で活動しています。

普段の活動では、みどり区の船原清軒先生の指導のもと、みんなでわきあいあいと技術の向上に励んでいます。真っ白な半紙に、たつぷりと墨を含んだ筆でのびのびと文字を書く時の爽快感と一瞬の緊張感、なにもものにもかえがたいものがあります。いつのまにか、自分でも想像もしていなかったほどの進歩をみせ、風格ある美しい文字が半紙の上に現れてくるのも書道の楽しみです。

昨年度は公民館でも作品展をおこないました。興味のある方、初心者の方でも大歓迎です。いっしょに活動しませんか。みなさんの参加をお待ちしています。



こんなことやってます! 公民館サークル紹介 40 名和書道クラブ

年間活動予定
【活動日】 第1・3木曜日
【代表者】 門脇 生和子さん(御来屋3区)
【会費】 3,000円(月額)
【問い合わせ先】 公民館(54 2688)

私の傑作コーナー

曙短歌会

*印は新仮名

舞いおちる花びらの浮く一を客にすすめる山寺の席

遠藤 定子

*智頭街道をめぐるに友の「あ、はなびら」ふり仰く空を山桜ゆるる

金田美彌子

連れだちてれんげの花を摘みてあし沓き日頭ち来満開の田に

塩谷 肇子

青き鳥鴉と枝にとまりめて朝日と見込る除草のわれを

角 公邦

朝晩の冷えの身に沁む老いの身のみの虫となるベットのの上に

角田 文子

*さとうきび畑の続く県道をバスのまん前牛車あゆめり

寺井 悦子

若葉さす城跡あふく公園に旅の終りの今日を惜しめり

戸野 愛子

*退院の夫迎えんと庭に散る白きつつじの花を掃きおり

野口 律子

またひとつ悲しみがふる我が春のふじの花房垂れて咲き初む

森本 怜子

笹鳴句会

すれ違つ一會の紳士花菖蒲

逢坂 常盤

遮断機の上る間の草いきれ

國谷 麗子

誰かれと話がはづむ溝浚へ

砂口英二子

楠若葉海軍墓地へ足のばす

津村 春水

霧雨に紫けぶる菖蒲園

角田 久子

更衣少女さやかにペダルふむ

宮川 節子

木下闇病衣のまゝの散歩かな

橋本 昭子

花菖蒲水より重き影ゆれて

美柑みつる

みふね句会

牛つなく杭のみ残り柿の花

秋山多喜子

梔子の花の香包む庵一戸

来海 忠満

梔子や片手で持てぬ広辞苑

国谷 耕川

端午茶事袴姿の凜しけり

高島 満代

時鳥四角にけむる阿弥陀堂

津村 春水

タンポポの絮の缺たる西半球

中川 幸宗

梔子の咲きし庭も荒れ果てて

榊田 福女

文机の晩年日記柿の花

松井 愛子

蛭や歩き減りせし畦の幅

美柑みつる